

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営 1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『その人らしい人生を全うしていただけるよう、私たちはプロとしてお手伝いいたします』という理念のもと、地域の資源を活用しながら、地域の一員として共に暮らすことを目指しています		
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の言葉の意味をみんなで理解し近づけるよう、プロ意識を持ちみんなで心がけています。管理者中心に「その人らしい～」理念の下、そのつど家庭ではと原点に戻り検討しています		
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	オープンより地域のなかの施設として少しずつ周辺の理解を深め、今では地域からボランティアなどの協力の呼びかけを積極的に頂くことが出来、大きな支えとなっていただいています		
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	小学校からの訪問や、納涼会やバザーなど行事での開放、また逆に、小学校の文化祭や運動会、地域から行事など招待を頂き、そのつど楽しく参加させていただいています。散歩途中の方が、子供づれで涼みがてら、気軽に立ち寄れたりと環境作りを常に心がけています		
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域ボランティアが運営している月2回のいっちゃん喫茶やコーラス教室などにも参加させていただき、一緒に楽しい時間をすごしています。地域の自治会にも属し、行事の案内やそのつど招待していただいたり、気軽にアルソーレのおばあちゃんなどと声を掛けてもらっています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	地域の方が相談に気軽に来て頂けるよう施設全体 で取り組む姿勢をもち、運営推進会議の場では地 域代表より活動の報告を頂き、地域活動の協力で きることは行っています。	○	同法人の居宅介護支援事業の介護者講習会での協 力を出来るところは引き続き行っています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価作成に全員で取り組み、評価を通じて日常業 務の見直しや、スタッフ全体での意識の統一と、 質の向上に努めています。改善計画の作成とまで はいかないが、担当者中心にみんなで改善に取り 組んでいます		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	リスク委員中心に取り組んでいる問題や、そのつ どの課題内容を検討から計画の状況をまとめ報告 しています	○	もっと気軽に率直な声を聞かせていただけるよ う、有意義な場となるように更なる工夫が出来れ ばと考えています
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	何かあればそのつど電話やメールで相談や助言は 頂いています。必要に応じて連携をとっていき たいと思っています。開設者研修では実習場として 活用していただきました		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している	現在入居中の方、3名がそれぞれのニーズに合わ せて成年後見制度を活用されています。地域の研 修会への参加や直接助言を頂いたり相談にも応じ ていただいています		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	外部研修や施設内勉強会などでも意識の統一を図 り、職員一人一人が自覚を持ち、利用者がその人 らしく穏やかに過ごしていただけるように常々注 意を払い、防止に努めています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書や契約書は事前にお渡しさせていただき、契約当日までも質問等を受け付け、当日に再び説明と質問を受け付け理解と協力を得ていますサービス利用に対しての家族と利用者本人の不安を少しでも軽減できるように、申し込みの相談からゆっくりとお話を聞かせていただくように心がけています		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の関わりの中で気軽に相談できるように心がけ、意見箱を設置したり、事務所職員も協力して声を掛けていただいたり、個別に外出したりと、話しやすい言いやすい場の提供に心がけています		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の請求時に合わせて状況の報告をお手紙（写真など）に書いて同封しています。又緊急時や必要に応じての電話連絡や、その他面会時にも報告させていただいています。小遣いの報告も面会時に行いサインを貰っています		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時にでも気軽に相談してもらえるように心がけ、声掛けをしています。意見箱を設置したり、事務所職員も協力して声を掛けていただいたり、話しやすい言いやすい場の提供に心がけています		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会議の場で、グループごとにスタッフみんなの意見をまとめて報告を受けている。検討すべき内容に関してはそのつど話し合いをしている。又会議の場以外でも意見を求め相談しあっています		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	そのつどスタッフとも話し合い、状況に応じた対応を臨機応変に行っています。又、外出時や行事など、他部署からの応援協力やボランティアなどの受け入れ等の工夫で利用者に負担がかからないように心がけています		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	部署異動のスタッフがこまめに訪問してくれたり、建物内で顔を合わせることがある為、なじみの関係が継続され利用者は安心されています。新しいスタッフが入職のときは、担当者をきめ、指導にあたっています。紹介は施設発行の季刊誌でそのつど紹介しています		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症の実践者研修や、新人、中堅者研修などそれぞれ合わせて積極的に参加している。また、個別に資格取得を目指すスタッフに対しても勉強会を開くなど施設全体で取組んでいます施設全体の勉強会が月1回開かれており、それぞれのテーマで専門職の協力や、外部から講師の協力を頂くなどして施設全体で質の向上に努めています		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入し、職員の交換研修や、定期的に行われる定例会や講習会への参加。又、周辺施設の情報交換や見学の受け入れなど。他施設の取り組みなどを参考にさせていただいたりしながらホームのサービス向上にも役立てています		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフ同士が気持ちよく業務に集中できるように、コミュニケーションをとる機会を多くもち、スタッフからの声を大切にしています		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の成長に合わせた研修への参加や、施設の委員会活動などにも積極的に参加してもらうなどそれぞれが職員としてプライドを持って取り組んでいます		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	不安が少しでも軽減できるように申し込みの相談からゆっくりとお話を聞かせていただいています。希望に応じて何度でも見学や相談問い合わせに応じています。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	不安が少しでも軽減できるように申し込みの相談からゆっくりとお話を聞かせていただいています。希望に応じて何度でも見学や相談問い合わせに応じています。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の時点で、求められているニーズに対して、他のサービス資源の説明など選択肢を広げながら必要に応じて同法人内の居宅支援にも協力を呼びかけ家族と利用者が納得してサービスを選んでいただけるように援助しています		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	慣れるまで家族にしばらく一緒に泊まって生活していただいたり、そのつどケースに応じて臨機応変に対応しています		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に過ごす、共に行うを基本とし、共に暮らす、生活を感じられる場所を事業計画に掲げて取り組んでいます		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族にも参加協力していただく行事を計画するなどしています。ご家族からは、積極的に鉢植えを季節ごとに入れ替えてくださったり、歌う会など企画して開いてくださったり、料理の差し入れを頂いたり、自宅に招いていただいたりと様々な面で協力を頂いています		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族と共に参加していただける行事の企画や、面会時に一緒に卓球などを楽しまれたり、又、状態の報告なども含めて、必要に応じて写真などを活用したり、コミュニケーションのお手伝いができるような援助を心がけています		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の方の面会も気軽に来ていただけています。時折ドライブにも出かけて馴染みの場所などを巡ったり、手紙を頂いた時にはお返事の手紙を写真入で作成したり個々に応じた援助を行っています		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が間に入りながら、馴染みの遊びや共通の話題にて一緒に楽しい時間が過ごせるように援助しています		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院されても定期的に面会に訪問させていただいたり、退所されたご家族様も、行事の時には毎年手伝いに来てくださるなど継続してよいお付き合いをさせていただいています		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や訴え（買い物、外食など）に対して臨機応変にその時にすばやく対応できるように努力しています		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の面接で情報を頂き、入所後も利用者やご家族との会話の中で、そのつど知りえた情報などを参考に、余暇活動に取り入れてみたり、利用者の理解に努めています		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人の得意な作業、興味など日々の活動の中で理解し、現状把握に努めています		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	課題に対して、担当グループ中心にスタッフの意見をまとめ、月1回のリーダー会議での話し合いとそのつど関わりの中で利用者・家族の希望を確認し、医師の意見も取り入れ介護計画に反映させています		
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間を6ヶ月とし、変化に対してはそのつど家族に報告し担当グループ中心に話し合い、必要に応じてプランの見直しと変更を行っています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録は個別サービス記録と業務日誌に記録しています、申し送りノートがあり、職員は確認後サインをするように統一し、情報を共有しています		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	管理者が看護師であることと、系列の訪問看護ステーションとの連携で医療連携体制を実施しています。また特別な外出の付き添い援助（映画・結婚式など）として、希望があれば相談のもとご協力させていただいています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的に詩吟、日本舞踊のボランティアが来てくれるほか、落語や大正琴、ギター演奏など沢山の方々に支えていただいています		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	馴染みの関係の継続で、併設されているデイサービスや居宅支援事業所スタッフとの連携もありスタッフと一緒にデイサービスに参加したり、担当していたケアマネジャーに話を聴いてもらったりと協力を頂いている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現状ではそのような意向や機会がありませんでした	○	必要性に応じて検討していきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	考えられるリスクは十分に説明を行い、少しでも最小限にダメージをくい止めることが出来るように努めています。又移り住む際にもご家族に細かな情報の提供を行い継続した援助が受けられるように支援しています		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄や入浴など、それぞれの状態に配慮し援助しています。定期的に年度初めにはサービスマナーと個人情報保護の勉強会を行い再認識と意識の統一に努めています。排泄道具の保管にも配慮しています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	春の外出企画では、5コース用意し、中から選んで参加していただきました。外食時のメニュー選びや、おやつバイキングなど。日常にも服を選ぶ、飲み物を選ぶなど、自分で選択し決定する機会を大切にした援助を心がけています。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日のある程度の日課はあるものの、利用者の希望や要望にそのつど対応できるように、又気候や天気などその日の状態で余暇活動が楽しめるように、常に臨機応変を心がけています。入浴も好きな時に入っていただけるようにそのつど準備をします		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎日の身だしなみの援助と訪問の理美容が月に2回あります。その他馴染みの美容室に家族と出かけられたり、家族がカットされたり、それぞれの希望で援助しています。行事やお出掛けなどでおしゃれする時は希望に応じてお化粧の援助もしています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居時に禁止食品、好き嫌いの確認を行い、別メニューの用意や軟菜、一口キザミ、キザミなど状態によってもそのつど個別に対応しています。利用者のやる気に応じて準備や片づけにも参加を呼びかけています		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	喫煙は1階の喫煙室でのみとし、ライターは個人で持たず、喫煙室で管理しています。嗜好にあわせてお酒おやつなども状態に合わせて預かるなどの援助をしています		
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	それぞれの排泄パターンを把握し、個別の必要な援助を行い状況を記録しています。またその時の状態に合わせてパットの種類や紙パンツを選んでいきます		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日希望の時間で準備をしています。以前は夕食後の希望もありましたが、最近では夕食後はゆっくりしたいとのことで希望がなく、ニーズに合わせた対応をしています		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	それぞれ自由に過ごしていただいています。なかなか寝付けない時などは、共用部分でおしゃべりしたり、テレビやビデオを楽しんだり、お茶を飲んだりしながら利用者のペースに合わせて過ごしていただいています		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	近くの公園や商店街、神社への散歩や、卓球、ボール遊び、ドンジャラ等のゲーム、手芸、編み物など、馴染みのある、興味を示される活動を取り入れ余暇活動と一緒に楽しんでいます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者・家族と相談の上、自己管理・見守りの管理・預かりの管理など状態に合わせた支援を行い、買い物時は支払い動作を共にに行い買い物を楽しんでいただいています		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の利用者の状態や天候に応じて声を掛け、近くの公園や商店街、神社への散歩や喫茶店などに出かけています		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	日帰り、1泊旅行、映画、コンサート、落語などそのつど季節やイベントに応じて企画を立て希望に応じて出かけています		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	1階の公衆電話は自由に利用されています。又希望にあわせて援助が必要な時はそのつど必要な援助をしています。遠方のご家族に職員の都合で電話をする時には声をかけ用件を伝えた後おしゃべりしてもらったりしています		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時はお茶を一緒に楽しんでいただいたり、余暇活動の卓球などに一緒に参加されるなど、気軽に過ごしていただけるように心がけています		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	リスクと合わせて身体拘束の勉強会を取り入れ、意識の統一を図っています。身体拘束と考えられる行為はせず、安全に配慮した見守りを強化しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の所在の確認を常に行い、鍵を掛ける行為はせずにＥＶも自由に使用できるようになっています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	所在の確認を常に行い夜間は２時間おきの巡回で見守りを行っています。夜勤の職員をホワイトボードで伝え巡回の際には睡眠の妨げとならないように配慮しています。鍵を掛ける行為はせずに夜間もＥＶを自由に使用できるようになっています		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁などの危険物は保管場所にて鍵を掛けて保管している。洗剤などは日中は使用できるようにクローゼットに保管しており、夜間は浴室に鍵を掛けて保管している。薬類はスタッフルームに保管しています		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	インシデントレポートを作成し、それぞれの危険に対して未然に防ぐことが出来るように情報の共有と必要に応じて対策を検討しています		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	施設全体で年に１回は看護師中心に急変時の対応を勉強会として行っています。又外部研修にも積極的に参加し伝達をしてもらっています		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	施設全体で災害対策委員会を中心にマニュアルの作成を行っています。年２回消防訓練の実施、そのつど消防士協力の下消火訓練と、通報の練習をしています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	考えられるリスクに対しそのつど家族に報告、相談し対応策を検討しています		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	変化に対してすばやく対応できるように、日々の観察から心がけ、変化があれば主任または管理者に連絡を行い、必要に応じて家族連絡と共に受診を行うよう早期、発見対応に心がけています		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人が内服している薬の一覧と効果・効能・注意事項をまとめたものをそのつど確認できるようにしています。変更などは申し送りで統一し、医師の指示を確認して観察を行っています		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	看護師、管理栄養士とも相談し、乳製品やバナナなどを食事に取り入れたり、ホットパックや適度な運動、水分補給を心がけています		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後状態に応じた口腔ケアを行い清潔保持に努めています。必要に応じて週1回の歯科の往診を活用しています。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量を毎食後確認し記録しています。状態に応じてゼリーやジュース、パンなどの捕食の準備もしています。水分摂取を心がけ、午前、午後にティータイムを取り入れるほかそのつど水分を用意し脱水予防に努めています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	施設全体で感染症対策委員中心にマニュアルを作成しており、時期ごとには勉強会を通して再確認を行い、そのつどみんなで注意を促がしています。又インフルエンザについては、早めに予防接種をうけています		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手洗いうがい消毒の励行と、週に1回衛生日を設けて物品の消毒と清掃を行っています。冷蔵庫の整理はそのつど行い、利用者個人の冷蔵庫はチェック表を作成するなどして賞味期限の確認をしています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物周囲には樹木を植え、季節の花が楽しめるようになっています。玄関にも花を植えたり飾ったりしています5、6階のグループホーム入り口には格子戸がありやさしい音のベルで出入りを知らせるようにしています		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一つ一つの空間を広くゆとりのあるものにしてあり、花や飾りで季節感を現しています。照明にも気を配り天候などに合わせてそのつど調節しています		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室だけでなく座ってくつろぐことが出来る空間がいくつかあり、それぞれのお気に入りの場所で過ごしていただけるように援助しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	入居時には使い慣れた馴染みのものでなるべく自 宅を再現してくださいとお願いしています。少し ずつ必要なものを取り入れながら、安心して過 ごしていただける環境作りを一緒に行っています		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	常に環境には気を配り、換気に努め過ごしやす い温度を調整しています。(冷房27度 暖房24 度を目安) 各居室はそれぞれで調節できますが、 集中管理で状態の確認を常に行い必要に応じて調 節しています		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	手すりなどの工夫と居室のスイッチなどは状態に 応じて説明書きを加えるなど、そのつど状態に応 じた環境作りを心がけています。各フロアーには 車椅子用トイレも設置しています		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	馴染みの作業、出来ること出来ないこと、必要な 援助をそのつど見極め、作業内容を分担したりし ながら、共に行いさりげなく援助することで混乱 を防ぐように心がけています		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	花や野菜を植え、みずやりやベランダでのティー タイムを楽しみながら観賞できるようにしていま す		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

施設の特徴である、併設しているからこそ出来るサービスとして、他サービスとの連携や、スタッフ同士の協力で、利用者に対してのサービスの幅も広がり、さまざまな形で楽しんでいただいています。利用者の意欲や、希望、調子などでその時々タイミングを大切に、希望に答えることができるよう、臨機応変なサービスを常に心掛けています。